

サロンで活躍するボランティアの方々



そばをつくる麺友会の方々
真剣そのものです！

地域ふれあいサロンでは、参加者がただ楽しむだけでなく、企画側のボランティアの方々の普段は隠された特技が発揮されます。例えば、前のページで紹介した **ふれあいサロンぽっぽ** では、月2回の活動日のうち、1回は語り部の会「ゆうがお」の会員さんによる昔話を実施しています。時折、手打ちそばの会「麺友会」による手打ち蕎麦試食会も実施し人気のイベントです。

聞く人、食べる人が楽しいのはもちろんですが、楽しみを提供するボランティアの方々の顔つきも笑顔にあふれ、やりがいに満ちていました。

あなたも身近なところに目を向けて、できること、興味があることから始めて、地域で力を開花させてみましょう。


はじめのいっぽ!

地域デビューに必要なものは、一步踏み出す勇気だけです。誰もが簡単に地域参画できます。まずは一步を踏み出してみませんか。次の施設ではボランティアや市民団体等を紹介しています。求めている活動が見つかるかもしれません。お気軽にお問い合わせください。

- **下野市生涯学習情報センター** TEL 40-0911
下野市緑3丁目5-1
ボランティア活動や各種講座の情報提供等行っています。
- **下野市社会福祉協議会** TEL 43-1236
下野市小金井789番地(ゆうゆう館内)
ボランティア活動や福祉活動の情報提供等を行っています。

「Youがおネット」

市内市民活動団体が登録されており、イベント等の情報を発信しています。ふれあいや協働のきっかけづくり、コミュニティ活動の活性化を支援するものです。



ゆーこちゃん



いきいき
マップ

★…地域ふれあいサロン
★…生涯学習情報センター
★…ファミリー・サポート・センター(ゆうゆう館)

編集後記 中川美恵子・小幡洋子・和氣節子・木村諦四・渡邊喜正

- 寒い時期に集まり、編集した今号ですが、春の訪れと共に、何か活動始めてみようかな。なんて思ってくれる方が一人でもいたら、嬉しいです。
- 出世魚の異名を持つ寒ブリが届いた。マイ包丁で格闘すること一時間、頬張った刺身は何ともおいしく、捌き終えた達成感とともに送ってくれた娘夫婦の心遣いがうれしかった。春を迎えて新年度もドンドン挑戦して行こうと思う。
- 編集している間に暖冬気味から寒冬・インフルエンザの流行・三寒四温も終えてうららかな季節となりましたが、花粉も飛び始めて花粉症には辛いシーズンですね。
- 日々季節の変化が肌で感じる事ができ、暖くなる事が嬉しい反面、数年前から嫌な季節とも感じ、マスクを外せない花粉の時期がやってきました。「早く終わらないかな」ってそう感じながら最近過ごしている方も多いと思います。
- デビューとは、ぱっとしなかった人物が、過去の自分を知っている人物が周囲に居なくなったために今までの自分にもたれていたイメージを払拭しようとする意味です。春の訪れと共に新しい風にあたってみませんか？

企画・編集 下野市男女共同参画情報紙編集委員会
発行 下野市 総合政策部 市民協働推進課
〒329-0492 栃木県下野市小金井1127番地
TEL:0285-40-5585 FAX:0285-40-5572
E-mail:shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp

表紙:ファミリー・サポート・センター提供会員が子どもの送迎を行う様子
仕事等で忙しい保護者に代わって提供会員が習い事の送迎や託児を行います。「無事にお預かりしました」と連絡があるので、保護者の皆さんも安心です。

2016.3

第15号

下野市男女共同参画情報紙

Sharing

シェアリング ~わかちあい~

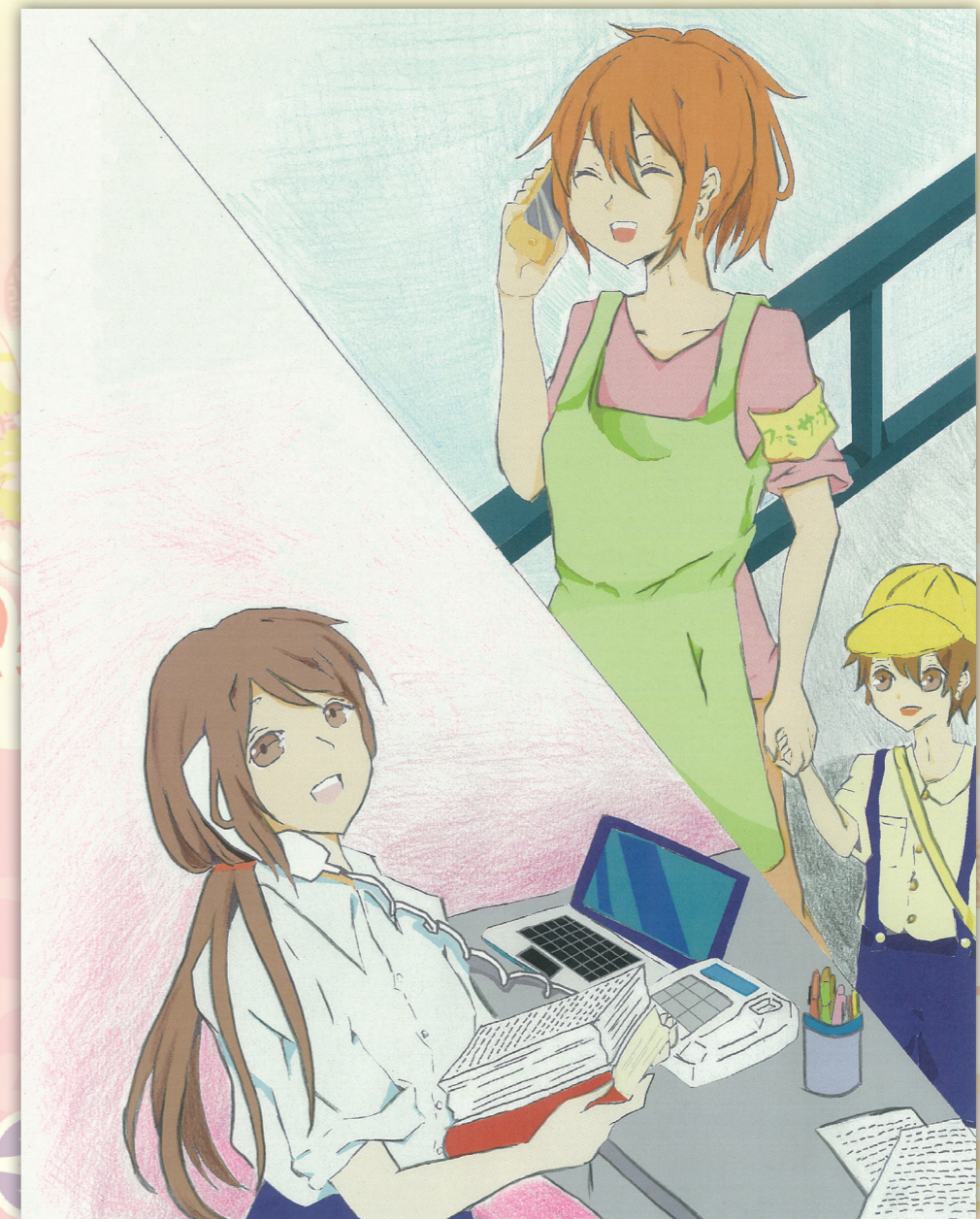
主な内容

- ファミリー・サポート・センター提供会員にインタビュー
- 地域ふれあいサロンにインタビュー
- サロンで活躍するボランティアの方々

〈特集〉

あなたも地域デビューしてみませんか?

~あなたにもできること 興味のあること きっとあるはず~



デザイン協力
南河内第二
中学校美術部

表紙
難波 明珠子さん

挿絵
佐藤 里佳さん
牧野 加奈さん
森本 采女さん

タイトル由来
みんなが“わかちあう”大切さをもって、男女が協力しながら、男女共同参画社会をつくっていただけるとの願いが込められています。

あなたも地域デビューしてみませんか？

お祭りや防災活動、福祉ボランティア等、身近には多くの活動の場がありますが、「仕事や子育てに忙しい」「定年したが、自宅にこもりがち」「何か活動してみたいけれど、どうしたらいいかわからない」等と思っている方も少なくありません。まずは、「地域デビュー」ということで、地域の絆づくりにかかわってみてはいかがでしょうか。

地域で支えあい、活躍している方々から一例として、ファミリー・サポート・センター提供会員やサロンボランティアとして活動されている方々にスポットを当て、身近な地域で、女性に限らず、女性も男性もどんな人が「輝いている」のかを探ってみました。



ファミリー・サポート・センター提供会員にインタビュー

ファミリー・サポート・センター制度は、有償ボランティアが子どもの送迎や託児等の子育て支援を行うことにより、働きながら子育てをしている人たちを支える仕組みです。託児等をお願いする方（依頼会員）が156名、お預かり等を行う方（提供会員）が76名登録をしています（平成28年2月現在）。働いている保護者を支えながら、自らもイキイキと活動していらっしゃる方々にお話をお聞きました。

提供会員に登録するきっかけ

仕事を定年退職してから、何か地域のことに参加できないかという気持ちがありました。偶然お誘いいただいて、私に少しでもできそうなことがあるかと思い、会員登録しました。



提供会員の須藤祥子さん

提供会員としてのやりがい

忙しい保護者のお役に立てれば、お子さんにも良い影響を与えられるのではないかと思います。働く保護者を支えることが男女共同参画につながるのかなと感じています。ちょっとした縁の下の力持ちになれば良いと思っています。



提供会員の渡辺美知子さん

提供会員の活動

塾などの送迎やお預かりのサポートをしています。保護者がお仕事等で都合がつけられない場合、保護者に代わって保育園にお迎えに行き、自宅でお預かりしています。お預かりしている時は砂粘土で遊んで楽しく過ごしています。また、以前、保護者が一泊出張のため、宿泊を伴うお預かりをしたことがあります。

※他に、登園登校前のお預かり、送迎や保護者が病気の時に預かることもできます。

家族の反応

夫は普段子どもと接する機会があまりないので、私が自宅でお子さんと遊んでいるのを嬉しそうに見守ってくれています。

これからのファミリー・サポート・センター会員

<制度を活用してみませんか>

地域には心強い提供会員がいます。まずご相談ください。

<あなたも支えてみませんか>

やはりお子さんはかわいいですし、提供会員として無理なく活動できています。できることから少しずつ始めて地域貢献を感じてくれればと思います。

お問い合わせ先
下野市ファミリー・サポート・センター
 TEL 44-1176 下野市小金井789 (ゆうゆう館内)



地域ふれあいサロンにインタビュー

地域ふれあいサロンでは、生きがいつくり・仲間づくりの輪を広げることを目的として、地域の住民同士が気軽に集まって、お茶を飲みながら交流したり、軽い運動等を行っています。地域ふれあいサロンは市内に13箇所あります（平成28年2月現在）。

今回は地元で『お茶の間健康クラブ』の代表を務めている隅谷サヨ子さんにお話をお聞きました。

サロン開催のきっかけ

もともとリハビリのボランティアを行っていて、それがこのようなサロンという形で続いています。



サロン代表者の隅谷サヨ子さん

サロンの活動内容

毎週月曜日、南河内第二中学校を活用して開催しています。音楽コミュニケーションでリズムに合わせて手指や頭の体操をしたり、歌を歌ったりしています。ゲームをして緊張感を味わったり、笑うことが楽しさを創っていると思います。あらかじめ活動内容を決めるのではなく、その場に合わせた活動をしています。

どなたでも参加できます

参加者は高齢の女性が多いですが、私の夫も参加して男性の一員として活躍しています。高齢者だけのサロンではなく、性別や年齢に関係なく、特に日中一人で過ごすことが多い方が乳幼児を連れて来るなど楽しんでいただきたいです。『サロンに参加すれば仲間に会える』それが一番の楽しみになると思います。

これからの地域ふれあいサロン

<参加してみたい方へ>

始めはドキドキすると思いますが勇気を持って参加してください。お世話する側、される側をきっちり分けるのではなく、参加者は誰もが主役になって活動しています。学校でもリハビリセンターでもないのでも難しく考えずに気軽に楽しんでいってください。

<サロンを作りたい方へ>

まずは気心知れた人達と始めて、少しずつ輪を広げていくのが良いでしょう。義務感で何かをしてあげようとするのではなく、参加者と一緒に作っていく気持ちで考えていくと自然とやりたいことがみつかるかもしれません。それが長続きにもつながると思います。



こんなサロンもあります！

『ふれあいサロンぽっぽ』（小金井駅前）の様子
 主に男性が世話役となって、運営するサロンです。今回の活動は新年会。料理の準備や歌などの余興も男性が活躍しています。

地域ふれあいサロンお問い合わせ先
下野市高齢福祉課
 TEL 52-1115 下野市下古山1220番地 (きらら館内)

～みんなで参画！～

ファミリー・サポート・センターでは、地域の子育て支援の拠点となって、徐々に参加する市民が増えています。また、地域ふれあいサロンのボランティアに参加することにより、取材した皆さんはいずれも、地域で「お互いさま」と言って助け合い、協力しながらイキイキと輝いて活動していました。

“地域貢献や地域活動”を難しく考えず、地域デビューを個性や能力を発揮する場とし、イキイキと輝いてみませんか。

